

Inhoku Elementaryschool



因北小学校だより

令和2年8月20日号



学校再開です！みんなでがんばりましょう！

短い夏休みが終わり、学校が再開しました。

8月17日（月）、18日（火）には、ご多用の中を個人懇談会にお越しいただき、ありがとうございました。初めて担任と顔を合わせたという方もおられたかもしれませんが、有意義な時間となったでしょうか。すべてのことを10分間で連携するのは難しいです。これをきっかけに、気になること等がありましたら担任としっかり連携をしていただきたいと思います。



さて、8月20日（木）から8月31日（月）までは1学期、9月1日（火）から12月25日（金）までが2学期となります。子供達にとっては長い2学期のように感じると思います。2学期は、力を伸ばす学期です。学力はもちろんですが、心や体も大きく成長する学期です。そのために、学校は子供達にできるだけのことを提供します。保護者、地域の皆様に学校を知っていただけるように、タイムリーな情報発信を行いながら、引き続きたくさんのご支援をいただき、学校、家庭、地域が手を取り合って子供達の学習環境をつくり、ともに成長を喜びたいと思っています。

学校や担任への気づき、要望、心配な点等がありましたら、遠慮なく学校へお知らせください。保護者、地域の皆様、引き続きよろしく願いいたします。

キーワード「主体性」と「表現力」

今年度の因北小学校は、「主体性」と「表現力」を意識して、授業をはじめ、教育活動を実施しています。1学期は学校再開からの期間が短かったこともあり、十分でないところはありました。2学期からは、「主体性」と「表現力」をさらに意識して進めていきたいと思っています。

特に力を入れていかなければならないのは授業です。「やってみたい」「どうしてだろう」と思える学習意欲を高める授業、しっかりと考えて、疑問を解決し、それをみんなに伝えたいと思える授業をしていく必要があります。これらのことを日々続けていくことで、子供達の学び続ける姿、考え表現する力が育成され、自分に自信をもった姿につながると考えています。



授業以外の教育活動においても、子供達にしっかりと課題意識や目的意識を持たせて、子供達が主役となる教育活動を進めていきたいと思っています。学校での様子をホームページ等でお知らせしていきますので、おうちでも「主体性」と「表現力」をキーワードに、声をかけていただければと思います。よろしく願いいたします。

傘と塩分チャージタブレットで熱中症対策！！



新型コロナウイルス感染症の心配とあわせて、熱中症の心配も気になっております。水分補給、登下校におけるマスクの着用の仕方、首元を冷やすタオル等の使用についてお知らせしてきました。

これに合わせて、当面、登下校時における傘の使用、状況に応じた塩分チャージタブレットの摂取を実施します。傘を使用する目的は、直射日光を避けること、人との距離（ソーシャルディスタンス）を保つことです。使用する傘は雨傘で構いません（日傘でも構いません）が、日光が当たりにくいものを使用してください。塩分チャージタブレットについては、丸善製薬様から寄付（1人当たり8～9個）をいただいております。これを休憩時間後や下校前等に配ろうと思います。もし、タブレットの摂取に問題がある場合は、担任にその旨をお伝えください。摂取させず、持ち帰るようにします。



どうやったらできるだろうか、工夫して何とかしたい！

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考え、尾道市の行事、学校行事等が中止になっています。子供達、特に6年生にはかわいそうな思いをさせてしまっています。しかし、収束どころか、感染者はますます増えている状況です。

子供達の安全・安心を第一に考えているところです。そのためには、2学期以降のすべての行事をなくすという方向も考えられます。もしかするとそうすることが最も安全な方法なのかもしれません。しかし、学校としては、行事等を例年通りの開催は難しいとしても、時期や場所、内容を工夫、3密対策等を十分に行えば何とかできるものもあるのではないか、形を変えてでもやらせてやりたいという思いをもって検討をしています。

（今後のコロナの状況にもよりますが）例えば、9月は地区別授業参観、10月、11月は地区別授業参観と学級懇談会を実施する予定です。学習発表会は、時期をずらして、学年ごとに体育館で発表できる場を設定する予定です。他にも全校朝会は、状況に応じて運動場に集まっての実施、ひこうき雲さんの読み聞かせも場を工夫しながらの実施など、どうやったらできるかという視点で考えています。

子供達のやる気や元気が出るように、安心・安全を確保しながら進めていきます。

学校評価アンケートから見えること

【因北小「3つの宝」の結果（肯定的評価）】

	あいさつ	そうじ	はきもの
児童評価	73%	83%	88%
保護者評価	76%	58%	62%
わかること	児童のあいさつに対する重要度を高める必要がある。	無言そうじが単に黙ってするだけになっており、おうちでの姿につながっていない。	子供によって意識の差が大きい。学校外でははきもの揃えが十分でない。

【今後に向けて】

◎学校として「3つの宝」を徹底する意識が弱い。教職員の意識を高め、どの教職員も同じ意識をもち、徹底指導するとともに、モデルとなる。

◎児童会を中心に、児童にも課題意識を持たせて取組を進める。

特に高い評価をいただいたことをさらに伸ばします！

次の項目については、特に高い評価をいただきました。大変うれしく思いますし、励みになります。これらの項目を並べてみると、つながりがあると思います。

「児童は、楽しく学校へ行っている」「児童は、友達と仲良く遊んでいる。」

「学校の教育活動は充実していると思う。」「学校の道德教育は充実している。」

「お便り、ホームページ等で、学校や児童の様子を知ることができている。」

「学校は、保護者や地域の方との連携を大切にしている。」

【これらのことからわかること】

- 保護者の皆様が学校に関心をもってくださっていること。
- 児童を元気に送り出してくださっていること。
- 子供達が学校を楽しみ、それを保護者の皆様が認めてくださっていること。
- 保護者の皆様が学校の取組を受け入れ、それを応援してくださっていること。
- 学校が子供達のため、保護者のため、地域のためにがんばっていることを認めてくださっていること。

社会に出て通用する人間に！

学校評議員さん、学校関係者評価委員さんへ学校の取組、成果と課題等を説明し、「社会で通用する力」という視点でご意見をいただきました。

【いただいたご意見】

- ◆重点として「あいさつ」に取り組んでいることはよいこと。先生にあいさつをすることはできているかもしれないが、友達にあいさつができるようになってほしい。◆学校教育目標の副題に、「社会に出て通じる力」とある。社会で通用するためには、様々な力が必要になる。因北小では「3つの宝」を伝統的に大事にしているのだから、みんなが共通認識をもって、徹底指導していくことが大事ではないか。
- ◆気づく力を持っているか。先生方が学校内の様子を見ているか。学校内にある課題に気づけているか。見ていなければ気づけない。気づかなければ変わらない。
- ◆校内のコロナ対策を意識し、よく取り組んでいる。行事が中止となることが多くなっているが、できることは工夫して実施してもらいたい。
- ◆子供が安心できる学級づくり、人間関係づくりをしてもらいたい。そのためには、何が課題であるか、何に困っているかを、しっかりと実態把握することが大事である。学校と家庭の連携を大事にしてもらいたい。

子供達を社会で通用する人間に育てるため、因北小学校をさらに質の高い学校にするために、貴重なご意見をいただきました。真摯に受けとめてまいります。

10月の主な行事予定

1日(木)	地域安全下校
2日(金)	後期PTA会費徴収、ひこうき雲さん読み聞かせ(低)
5日(月)	PTA実行委員会
6日(火)	委員会活動
8日(木)	地区別参観日・学級懇談会①
9日(金)	地区別参観日・学級懇談会②
12日(月)	口座振替日
13日(火)	クラブ
15日(木)	地域安全下校
20日(火)	スクールカウンセラー相談日